

# 名詞文の解釈—共発話者の役割

栗原 唯

(青山学院大学大学院)

名詞（句）のみで構成される発話、名詞文は Benveniste 以降、動詞文と同じように「文」というステイタスを持っているとされているが、具体的にはそれがどのような文であるか、どのように解釈されるのかといったことに関しては、一貫した十分な説明はなされていない。名詞（句）のみで構成されている名詞文では、主語—述語構造を持つ動詞文のように明白に叙述関係は表されていない。実際、主語—述語という叙述関係に従った解釈は名詞文には不適當であると考えられる。その一方で名詞文は属性付与による評価の表明、事物の提示による出来事などの描写、願望、命令の表明といった多様な意味内容を表しているように思われる。名詞文の受け取り手は、（それを取り巻く文脈の助けがあるとはいえ）名詞（句）のみを前にして、どのように様々な文的意味を読み取っているのだろうか？名詞文という形式の発話を、その受け取り手側の視点に立って、その解釈がどのように行われているのかという点を中心に考察する。